

1月28日(水)
令和8年(2026年)発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京 03 (5842) 8750番
振替 00120-9-56573番
http://www.coatingmedia.comPaint & Coatings Journal
ペイント&コーティング ジャーナル塗装工程の省エネ、CO₂削減を牽引
アンデックス×中部電力ミライズ 「WETCOM II」本格展開

塗装ブース・塗装設備メーカーのアンデックスは、中部電力ミライズと共同で蒸気レスのウエットエアース空調機「WETCOM II (ウエットコムツー)」を開発した。昨年9月には製造工場で初めて東海理化・音羽工場に納入し本格稼働を開始。生産工場における塗装工程の省エネ、環境負荷低減システムとして普及が期待される。

アンデックスと中部電力ミライズは2013年頃から大手重工業に対する協業関係を通じ、多くのエネルギーを消費する塗装ブース空調に着目。東洋熱工業の技術協力を受ける形で共同開発をスタートし、2024年8月「WETCOM II」を完成させた。大幅な価格削減、メンテナンス性の向上を図り、以降市場展開を積極化している。

「WETCOM II」の最大の特長は、塗装ブースの温湿度の制御を高効率、高精度で可能にした点。一般的に塗装ブース空調は、ガスボイラ及び電気ボイラを熱源とした蒸気式加湿の他、気流中に微細ミストを噴射させる水噴霧式加湿、水分を沁透させた加湿モジュールに気流を通過させる気化式加湿がある。しかし、蒸気式は導入コストが安価である反面、エネルギー効率が低く、環境負荷が高いのが欠点。水噴霧式、気化式においては冬場の低温、低湿環境では蒸気式と比べて加湿性能が劣るといった課題がある。

これに対し「WETCOM II」は、ヒートポンプを熱源に空気を冷温水に直接接触させることで温湿度の制御が可能。季節や急な気象変化に影響を受け

ることなく、恒温恒湿環境を保持する。空調ユニットの構成は、散水セクション、再熱コイル、ファンから成り、散水セクションで外気を直接冷温水と接触させることで露点に集約させ、その後再熱コイル、ファンを経て給気するメカニズム。いかなる外気条件であっても高精度に規定の露点に達し、安定した温湿度環境を保持する。また他のヒートポンプタイプの水噴霧式及び気化式と異なり、ヒートポンプからの温水温度を緩和して運転できるため、「COP (エネルギー消費効率) も倍ほど違う」(中部電力ミライズ)と優位性をアピールする。

ランニングコスト(同社調査)は蒸気式と比べ65%減、CO₂排出量は64%減。本稼働を始めた東海理化におい

ては、ランニングコストで65%減、CO₂排出量は73%の削減効果を見込む。なお、散水セクション1台で風量580m³/minまで対応。モジュールの連結により大風量にも対応する。

電力会社との協業も注目

中部電力ミライズは、中部電力を親会社とする2020年4月に設立した販売事業会社。電力・ガスの小売全面自由化を背景に電力・ガスの販売の他、省エネ、創エネ、グリーン化などの環境ビジネスに注力。塗装工程の省エネ、環境負荷低減ビジネスにも乗り出した。

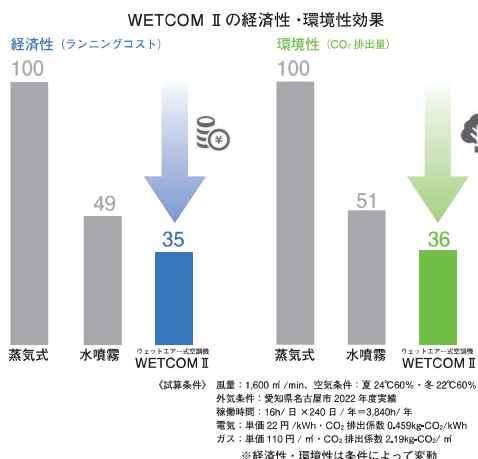


WETCOM II 外観 (東海理化・音羽工場)

同社の優位性は、各種製造業との豊富なネットワーク。「製造業比率が高い中部圏で2000年から生産プロセスの省エネ、機器開発を積極的に取り組んできた。お客様にワンストップで提供できるサービスが強み」(中部電力ミライズ)と塗装システムとのシナジーの高さを強調する。アンデックスの吉田伸社長も「製造業が直面する生産設備の省エネルギー化や脱炭素化といった課題に、中部電力ミライズさんの提案は非常に説得力があり、提案の精度と拡がりはこれまでにないレベル」と協業に期待を寄せる。

実際、エネルギーのコスト削減効果を細緻に可視化する独自シミュレーション技術は、導入検討に悩む顧客をバックアップ。「効果試算から導入を即断する顧客もいる」(中部電力ミライズ)と脱炭素化の試算も含めたサービスが評価を高めている。

今年は2月18日から開催される「第1回塗料・塗装設備展 名古屋」の出展を皮切りに自動車部品メーカーや航空機メーカーの塗装工程に導入提案を進める方針。また半導体分野への展開も視野に入れ、クリーンルーム対応の製品開発を進めるとしている。



主な内容

- ▷2面 物流拠点を再編、滋賀・湖南市で稼働 大日本塗料 自社製品のCO₂量算定サービス開始 日本ペイント
- ▷4面 水溶性フェノールに塗料メーカー関心 住友ベークライト
- ▷5面 賀詞交歓会
- ▷6~7面 第34回塗料産業フォーラム
- ▷8面 東京オートサロン 2026

連日、業界団体企業の賀詞交歓会が続いている。会に出席し面識ある方々と会話を交わすことで、新しい年が始まったと実感する。製販装の会をあとこちと飛び歩くことで、お正月モードから仕事モードに自然と切り替わっ

ていく体質になっていると言えるかもしれない。記者という立場にとってもこの賀詞交歓会の場合は貴重であり、組織トップのあいさつの中から今年の見方を読み取るだけでなく、出席者との雑談も大事だからだ。個別の取材の場とは違い、お酒も入りリラックスした懇親の雰囲気だからこそ出る「こぼれ話」や本音が聞

けたりする。そこから今年の流れを感じることも重要だと思っている。これまで会に参加して感じる傾向として、今年も「変化」がキーワードになりそうだ。社長交代、M & A、新工場といった計画があったり、これまでその分野の「顔」であった方が退職や異動されたりする話を聞いた。1つひとつの事象は小さくても、細部

な動きが大局の変化につながるかと考えるなら、その予兆を的確につかむことが重要だろう。賀詞交歓会は、その「さざ波」をいち早く感じられる貴重な場だ。2月中旬まで賀詞交歓会が続いていくが、小さな兆しを丁寧に拾い集めていきたい。その上で今年も業界の流れを見極め、変化の本質を確かに伝えていきたい(T)

省力化 快適 健康 安全 安心 環境性向上 資産価値の向上

エスケー化研は、技術革新を推進し、未来へつながる新型製品を提供し続けます。

健康仕上材の総合メーカー
エスケー化研株式会社
SKKAKEN 本社:大府町茨木市中橋横3丁目5番5号 ☎072-921-773370th
2024.5.17-2024.5.19